

本の部屋から

図書館便り 第44号
発行日 平成27年9月1日
発行 下館二高図書委員会

★図書委員会あいさつ★

こんにちは、図書委員会です。
暑い日が続いていますが、夜には涼しさが戻ってきて秋を感じます。
秋と言えば、「読書の秋」です。
これ機に本を読むのが苦手な方も本を読み始めてはいかがでしょうか。

また、耐震工事の騒音のため、図書室を利用する際、少し迷惑になるかもしれませんがご了承ください。

図書委員会広報委員 谷口明義・山田隼大

本の紹介

『風立ちぬ』 著者 堀 辰雄 (谷口明義)



この本には、「風立ちぬ」以外にも「美しい村」・「麦藁帽子」が収録されています。その中でも自分の中で一番印象に残ったものは、やはり「風立ちぬ」でした。主人公とその恋人である節子の切ない恋の物語です。主人公は療養中である節子に付き添って、高原のサナトリウムで一緒に過ごすことになります。二人は静かな自然に囲まれながら、微笑とほんのわずかな会話をしながら生活していきます。限られた時間で死と向き合いながらも、互いを思い続ける二人。涙なしでは読んでいられない一冊です。きっとこれを読めば、周りにいる人がどれほど大切な存在であるか気づくはずです。

『インシテミル』 著者 米澤 穂信 (山田隼大)

人文科学的実験の被験者になるだけで時給 112,000 円がもらえるというアルバイトに応募した学生の結城理久彦は、その他 11 名の男女と「暗鬼館」という施設に閉じ込められてしまいます。後から、より高い報酬を巡って参加者同士が殺し合う犯人当てゲームだということを知らされます。参加者たちは金のためにどこまで残酷になってしまうのか……。この小説は実写映画化された作品ですが、出てくる武器などが全然違うので、映画を見た人でも楽しめると思います。自分がこの実験に参加していたら人を殺してしまうのか……と読んでいくと怖くなる作品です。是非読んでみてください。



*****図書室より*****

7 月に七夕の笹飾りを展示しましたが、たくさんの方に短冊に願い事を書いていただきました。図書部の先生方へ選考していただいた結果、選ばれた方には景品を差し上げます。9 月中旬に連絡がいくと思いますので、楽しみにしててくださいね。また、図書室前の装飾・本の展示を新しくしました。ぜひ、図書室に足を運んでくださ

い。

〔三校合同図書委員研修会について〕

平成 27 年 7 月 31 日下館二高図書館にて、三校合同図書委員研修会が開催されました。下館工業高校、下館一高、下館二高の図書委員が参加し、午前の部は三浦しをん著『舟を編む』を課題図書として読書会が行われました。



玄武書房に勤める馬締光也は人付き合いが苦手で、営業部では変人扱いされていた。しかし、言葉に対するセンスが鋭く、新しい辞書『大渡海』を作る仲間として辞書編集部を迎えられる。個性的な面々の中で、馬締は辞書作りの世界に没頭するが、問題が山積みの辞書編集部。果たして『大渡海』は完成するのか――。

1、好きな登場人物は？

- 馬締光也：言葉に対する思いが強く、本への愛がすごい。くそまじめで不器用な男。不器用ながらも頑張っている。
- 西岡さん：前半の明るさから後半の本音や優しさを出すギャップ。最初は（辞書作りに）興味がなかったけれど、異動して本気でやってくれたところ。普段はふざけているのに自分の考えをもって静かに実行しているところ。
- 板前の先輩：後輩思い、男前



2、気に入った場面や表現等は？

○右を説明する場面……馬

締のきまじめさ、言葉のセンスが発揮されていてすごかった。

- 「辞書は言葉の海を渡る舟だ」辞書の在り方を格好良く表している。
- 香具矢さんと馬締さんのデートの場面
- 土下座を強要されるも、「(そんなに) 安っぽい辞書なのか？」と思いい、止めるシーン
- 辞書に使用する紙のぬめり感にこだわるシーン。(辞書の) 内容だけでなく質感にまで至る馬締のこだわり。

3、本（辞書）と自分との関わりについて、また、図書委員になったきっかけは？

○幼い頃に父に読み聞かせをしてもらって本が好きになった。本が大好きなので図書委員になった。
どのグループも時折笑い声が上がり、和気藹々と活発に意見を発表していました。一人で本を読むのも楽しいですが、友達と意見を交換することで共感したり、自分とは異なる読み方を発見したり、読書会ならではの楽しさがあると思います。11 月には校内での読書会がありますので、是非参加してください。図書委員でない方も大歓迎です。

午後の部は、教頭先生に葉作りを教
えていただきました。皆さん集中し
て作業をし、葉作りを楽しんでいま
した。



